

梅の里



命を守る！

5月11日、地域の方から、こんな連絡が入りました。

- ・朝の登校時間、近くで人身事故があった。
- ・ちょうど目撃した登校してくる小学生2人がすぐに「安心の家」
にかけこみ状況を説明した。
- ・安心の家の方が救急車を呼んだ。
- ・幸い負傷した方は軽傷だった。



「とっさのことでどうしたら良いのかわからなかったかもしれないが、安心の家にすぐに連絡してくれた。自分たちができることを考えて行動していた。できるようでなかなかできることではない。とても感心した。」 学校としても本当に嬉しい連絡でした。



5月10日には1～3年生を対象に「防犯教室」が行われました。

「あいさつをしっかりとる。犯人は『この子はあいさつがしっかりとできる子だ。声をかけるのをやめよう』と思うことがある」

「犯人は子どもが好きなものや興味があることでだまそうとする。『いきません』『わかりません』とはっきり言おう」

「危ないと思ったら大声を出す。その場から全力で逃げる」

「何かあったらお家の方や先生に報告する」

といったことを教えていただきました。また写真にもあるように手を伸ばしたこの距離を保つことが大事だそうです。命を守るために自分でできることを実践していきましょう。



児童総会が行われました

各委員会から活動目標や重点活動の説明が行われ、質疑応答を行いました。「笑顔があふれる学校に」という願いのもと「百花繚乱 ～咲かせ！ 笑顔の花」という令和3年度の児童会スローガンと共に各委員会の活動計画が承認されました。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、例年通りの活動ができない可能性が高いです。「密になってしまうので、この活動は無理ではないか」「感染防止のために別のやり方はできないか」という意見が子どもたちからも出されました。今後、各委員会で検討していくことになっています。

【連絡】

- ・内藤スクールカウンセラーとの面談をご希望される方は、担任まで申し出てください。来校日は先日のお便りを参照。
- ・新型コロナウイルスが収束する気配がありません。今後「職場で感染者が出た」というケースが増えてくると思います。子どもの登校について判断が難しい場合など、学校(教頭)へ連絡をお願いします。

わかる授業

宮田小学校では全教室に電子黒板が設置されました。「教科書の15ページを開いて」と先生が指示を出すと「え？何ページだっけ？」「これでいいの？」と確認する時間が結構かかりました。電子黒板では「教科書のこのページだよ」と大画面で確認できます。また自由に書き込んだり、消したりすることができますし、動画で説明したいときに、すぐに映し出すことが可能となります。

人間は耳から聞くよりも目から入る情報が優先されることが多いです。全情報を100%だとすると、人間はそのうち、視覚で83% 聴覚で11%を判断するというデータもあります。子どもたちにとってもより授業がわかりやすくなっていると思います。



また、1人1台のパソコンを使つての授業がようやくスタートします。昨年までの実践から「ローマ字でのタイピング」ができるようになることで、飛躍的にパソコンの操作が向上するということがわかってきています。ICT 支援員の池上先生の力を借りながら、子どもたちにパソコンを活用する力をつけていきたいと思っています。



6年生のあるクラスでは「学級討論会をしよう」という単元の学習を行っていました。「宮田村に大型ショッピングモールが必要か」というテーマについて、グループで話し合いをしていました。グループ学習の良さはたくさんあります。「話し合い活動の中で自分の意見がはっきりしてくる」「友だちの意見にすぐに反応して質問したり意見を言ったりすることができる」「話を聞いているだけでも参考になる」「友だちがメモを取る様子を間近で見てマネすることができる」等々。

以前のような「教える人」「教えてもらう人」のイメージではなく、子どもたちが主体的にかかわりながら「わかる」授業をめざしていきます。

温かい言葉が飛び交う学校・学級

「すごいね」「ありがとう」「助かったよ」「がんばったね」そんな温かい言葉をかけると、相手も自然に温かい言葉で返してくれる。友だちと仲良くなる第一歩ですよという話を始業式で校長先生からいただきました。

新型コロナウイルス感染防止をしながら、姉妹学年との交流をはじめていま3す。今回は1年生と6年生とのかかわりを紹介します。

「大丈夫？ 重たいけどできる？」

「うん。大丈夫」

一緒に教室の掃除をしている6年生と1年生の会話です。6年生は憧れの存在。こうやって優しく声をかけてくれるので、1年生は6年生のことが大好きになります。

「よし！ じゃんけんだ。勝負するよ」

1年生と6年生がじゃんけん列車をやっています。1年生は肩を持ってくれるだけで安心してしています。6年生は常に温かい声をかけてくれます。勝ったら一緒に喜び、負けたら「しょうがないよ」と慰めてくれます。やっぱり1年生は6年生のことが大好きになります。



各クラスでは学級目標が決まってきました。子どもたちが願うところは、表現は違っていても児童会スローガンと同じく「笑顔」「仲良し」「けじめ」等になっています。そういう学校にしていくためにも、まずは「温かい言葉」を自分から使うことができるように心がけていきましょう。